

# 百貨店の皆様へ

## 労働災害を防止しましょう！

都内の小売業では、広い店舗内でのつまずき、滑りにより転ぶ「転倒」及び大量かつ重い商品の取扱いで筋をちがえる、くじく、ぎっくり腰になる「動作の反動・無理な動作」と呼ばれる労働災害で全災害の約5割を占めます。

特に衣食住の極めて幅広い領域にわたる商品を取り扱う百貨店及び出店しているテナント店では、店舗が広い、売り場の天井が高い、店舗が複数階にわたる等の特徴があるため、以下のような災害が発生しやすくなります。

▲ 階段等を使い、広い作業エリアを移動する際につまずき、滑りにより転ぶ

▲ 天井が高いため天井POP取り付け等に脚立等を使用し脚立等から落ちる

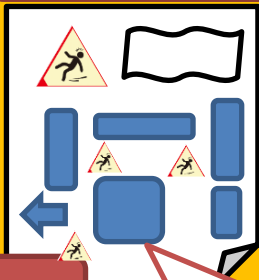
▲ 重い商品等の取扱いにより筋をちがえる、くじく、ぎっくり腰になる

労働災害防止には、危険個所などの「見える化」をはじめとする安全意識の向上、雇い入れ時の安全衛生教育が重要となります。

さあ、職場に合った効果的な労働災害防止対策をしてみましょう！



### 転倒防止対策のポイント



#### 転ポ⑤

段差のある個所や滑りやすい場所などにマーカー、テープなどで「見える化」をしよう！

そして、転倒危険マップを作成し、バックヤードなどで周知しよう！



#### 転ポ④

通路、階段、出口に物を置かない！



#### 転ポ①

バックヤードや階段等も安全に移動できるように十分な明るさを！



#### 転ポ②

歩きスマホ、大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での階段の移動はダメ！

#### 転ポ③

作業を行う際は、接地面積が広く滑りにくい靴を！

#### 災害事例

ケース1 濡れた床の清掃中、足を滑らせ転倒、床面に頭部・胸部を打撲し死亡。(68歳女性)

ケース2 事務所内のついたてのベースにつまずき転倒、頸椎を骨折し死亡。(62歳男性)



# 脚立等からの墜落防止対策のポイント

## 墜ポ⑤

身体のバランスをしっかり保持するよう、昇降時は**荷物を手に持たず**に、三肢で支える**3点支持**を行おう！

## 墜ポ④

経験の浅い従業員には、脚立の正しい使い方指導を行い、作業時は**複数人**で行おう！


## 墜ポ③

天井POPや高い個所への陳列は、脚立の天板に乗ったり、またいだ状態で作業せず、上から**2段目以下**の**踏ざん**に乗って身体を固定した状態で作業する！

## 墜ポ①

陳列棚の上段には、**大きいもの、重いものを陳列しない**！

## 墜ポ②

脚立の危険内容などが一目でわかる「**墜落危険マーカー**」で「**見える化**」を！ 



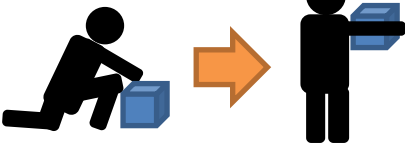
## 災害事例

- ケース1 商品の棚卸し作業中、脚立から降りる際に転落し、後頭部を打ち死亡。(70歳男性)
- ケース2 両手に荷物を持ち、階段を下りていたところ、転落し頭を打ち死亡。(55歳男性)



# 腰痛等防止対策のポイント

床から荷物を持ち上げる場合は、片足を少し前に出し**膝を曲げる**！十分に**腰を下ろす**！背を**伸ばし**、腰を**捻らず**！膝を伸ばすように**立つ**！




## 腰ポ⑤

## 腰ポ①

1つの荷物は**10kg程度が目安**です。これを超える場合は、2人以上で作業しよう！

## 腰ポ②

取り扱う荷物の重さがわかるように**重さの「見える化**」をしよう！ 

## 腰ポ④

無理な姿勢の作業とならないようにバックヤードは**整理・整頓**！

## 腰ポ③

移動距離は短くし、**人力**での作業は**減らそう**！



## 災害事例

- ケース1 商品の入った段ボールを繰り返し棚に収納し、両手首腱を負傷。休業1ヶ月。(20歳女性)
- ケース2 機材を持ち上げた際、予想より重く、急性腰痛を発症。休業3ヶ月。(36歳男性)

上で使用している「見える化ステッカー」  & 「マーカー」  の活用をぜひ！

東京労働局では、「**Safe Work TOKYO 2018**」を展開しており、小売業・社会福祉施設・飲食店等の労働災害の防止に関する様々な情報を掲載しています。

[https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news\\_topics/topics/2017/9\\_00002.html](https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/topics/2017/9_00002.html)

